

## 令和2年度放送番組審議会 議事録

### 1. 概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書類による審議としました。  
審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数7名のうち全員から回答がありました。

### 2. 審議委員（敬称略）

佐川徹三 会長（鹿沼秋まつり実行委員会 委員長）  
大橋正春 副会長（JA かみつが 組合長）  
佐藤信 委員（鹿沼市長）  
入江史朗 委員（鹿沼商工会議所 専務理事）  
奈良部實 委員（鹿沼市自治会連合会 会長）  
斎藤陽子 委員（栃木県社会教育委員協議会 会長）  
鈴木貢 委員（鹿沼市文化協会 会長）

### 3. 報告事項

- (1) コロナ禍における鹿沼市及び民間団体との番組連携実績について
- (2) 栗野地区「情報カメラ」増設に関する進捗状況

### 4. 議事

- (1) 主なレギュラー番組(鹿沼トピックス・Fresh!デイリーワン)に関する意見・感想

#### 質問・回答

- 【委員】内容をコンパクトにまとめて、タイムリーに情報発信をして欲しい。  
【委員】新しい企画として「健康」をテーマにした番組を繰り返し放送できるよう検討して欲しい。  
【委員】市内の情報がとても分かりやすく放送されている。  
【委員】コロナ禍に対応する番組の強化をお願いしたい。  
【CATV】放送回数が多いレギュラー番組だからこそ、市民が必要とする情報を適時、タイムリーに届けられる番組作りを行ってまいります。

- (2) コミュニティチャンネル全体に関する意見・感想

#### 質問・回答

- 【委員】「VIVA!KANUMA」は、お店の情報が満載で言い番組だと思います。

【委員】市民がスマートフォンやビデオカメラ等で撮影した映像を放送できる番組を設けてはどうでしょうか？

【委員】コロナ禍で人を集められない文化活動の番組を多くしてほしい。

【委員】市民にとって身近な情報がお茶の間に居ながら得られるので大変喜ばしいことと思います。

【委員】コロナ禍でステイホームの今、「うたごえ喫茶」や「うたごえ広場」の番組を特に高齢者の皆さんが楽しみに視聴しています。録画して何回も見ることもあるそうです。正に、生活の一部となっておりこれからも継続して欲しい。

【委員】赤ちゃん誕生の情報を放送できないか？

【委員】「お悔やみ情報」は、必要なのでしょうか？

【CATV】地域メディアとして「今、必要な番組は何なのか？」を常に意識し、これまで取り組めていない番組制作にも積極的にチャレンジしてまいります。

### (3) その他

#### 質問・回答

【委員】私の身近な人の中には、未だケーブルテレビに未加入の方が多くいるように感じられます。なぜなら、番組内容の話になった時に「ウチは、まだケーブル入れてないんだよね。」といったケースが多いからです。これからは、災害・防災情報など地元メディアからの情報の必要性は高まると思うので、より一層の加入者拡大を図って欲しい。

【委員】「広報かぬま」に掲載された方々との番組連携など考えて欲しい。

【CATV】加入者の拡大につきましては、全社一丸となって取り組んでまいります。また、今後も地元メディアとして地域密着をモットーに、市民生活に寄りそった放送・通信サービスを展開してまいります。

以上